

職員による自己評価

A 環境面

・エレベーター内が狭いこと、教室内も机と椅子が多い環境からすべての児童が通いやすいとは言いきれないが、スペースを活用して児童みんなが遊べる療育を実施している。

B 児童への支援内容

・基本的にプログラムは固定化されているが、行事ごとの創作を取り入れる、長期休みは公園に行くなどの工夫は行っている。
 ・スクールでの様子や保護者から共有を受けた児童の様子を日誌に記録し、職員ミーティングを行うことで、一人一人にあった支援を検討し実施している。

C 関係機関との連携

・支援部会や研修を通して他機関との関わりを引き続き行う。

D 保護者への説明責任・信頼関係

・利用開始前に支援の内容など説明することは出来ている。スクール内の様子は前回の評価をもとに HP 更新の回数を増やした。

E 非常対応

・すべての児童が避難訓練に参加できるように日時を考え実施している。

保護者による評価

A 環境面

・低学年には体を動かしたりするのに狭いため、もう少し広くてもいい。
 ・気が散りやすいため、1つのスペースで大丈夫かなと思う。

・設備面はわからないため、評価出来ない。

B 児童への支援内容

・小学校の状況や本人の課題を保護者の聞き取りをした上で計画していて成長につながっている。
 ・比較的利用時間が短いことから、固定化してなくてもいい。

C 事業所からの情報発信

・定期的な面談、利用日を LINE 共有にて、お互いに理解できている。

・個別支援計画のための面談は行われているが、日常生活までの相談には至らず。家庭内での困難は続いているため、アドバイスをもらいたい

・中学に向けての進路や情報共有があれば参加したい。また、勉強会などあればいい。

・時間がある時に HP で確認している。

D 非常対応

・定期的に行われているので安心。

・防犯マニュアルは知らないと思う。

事業所内での分析

【共通点】

- ・プログラムは固定化されているも、児童に応じて変化した内容も実施出来ている。
- ・支援内容については、保護者様との情報伝達ツールを利用し、意思疎通や情報伝達を行うことが出来ている。
- ・避難訓練に関しては、事前に日時説明のお知らせを書面で通知、当日は記録としてもお伝えしていることから訓練がしっかりと出来ている。

【相違点】

- ・低学年の児童にとっては、室内が狭いとの意見がある。
- ・父母会に関しては、必要の有無に関して「どちらともいえない」の意見が多かった。
- ・HP の回数を増やすも、「どちらともいえない」の意見が多かった。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・プログラムの固定化はあるが、その中でも季節を取り入れた遊びや工作、月事の目標達成カードを行うなどして、工夫が出来ている。
- ・保護者と送迎時や情報伝達ツールを使い、コミュニケーションを取りやすい環境がある。そのため、児童の情報共有や支援につなげることが出来ている。
- ・避難訓練など家庭に周知し、児童が参加しやすい環境を作れている。

事業所の改善点

- ・限られた活動スペースの中で、児童一人一人が、楽しく活動できるように、工夫をしていく必要がある。
- ・避難時のお知らせだけでなく、防犯への周知が出来てないことから、防犯について周知する必要がある。
- ・事業所での活動内容の周知、発信がまだ伝わりきれていない部分がある。

事業所の改善への取り組み

- ・限られたスペースで遊べるように、工夫し、色々な遊びを提供していく
- ・防犯面については、マニュアルやポスターを作ることで周知をしていく
- ・HP だけではなく Google マイビジネスや 2.3 か月に一度会報を作成することで、スクールの情報や教室の様子を共有していく

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

年号が変わる 5 月には開所してから 4 年目となる青葉台教室ですが、前回同様多くのご家庭より評価・意見をいただいたこと、大変嬉しく思います。今回多くの保護者様より評価・意見をいただいたことで、保護者様のニーズや教室の強み・改善点、検討していくべき点など様々なことを知るとともに、職員自身も強み・改善点を見つめ直す機会となりました。

教室の環境や保護者様のニーズなど、改善・検討していかなければならないことに一つひとつ取り組んでいくことで、今後も安心して通うことが出来る教室をつくれるように、努めて参りたいと思います。

事業所名 オレンジスクール 青葉台教室

担当者 児童発達支援管理責任者 富田 志織

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成31年3月31日 事業所名：オレンジスクール 青葉台教室

保護者数（児童数）：47人（50人） 回収数： 39 割合： 83%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	7	2	・低学年には体を動かしたりするのに狭い ・気が散りやすいため、1つのスペースで大丈夫かなと思う ・もう少し広くてもいいと感じる	・児童の遊ぶ時間が重なった時は、机やイスなどを壁にくっつけ、スペースを確保していく ・状況に応じて、面談室を使用していく
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	33	6	0	・たまに来る1人の職員の表情が少し怖い	・どの職員にも表情や対応、行動について再度指導していく
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20	15	1	・わからないため評価出来ない ・身体障害の方がいないので、縦バリアフリー的な配置がないのかもしれない	・HPを使用し教室内の説明を行うことで、事業所の設備等を知る機会をつくる
適切な支援提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	36	3	0	・小学校の状況や本人の課題を保護者の聞き取りをした上で計画して成長につながっている	・引き続き、ご本人たちの現在の状況を保護者様方から教えていただき、対応をしていく
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	28	10	0	・成長に応じて常に変化があり、ステップアップしているのがわかる ・比較的時間が短いことから、固定化してなくてもいい	・現状のまま行いつつ、工作や遊びを通じ季節にあった活動を取り入れ工夫を行うことで、変化をつけていく
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	16	18	・現在の教室内で十分	・現在は、事業所内のみで活動を続けていく
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	39	0	0	・定期的な面談、利用日のLINE共有にて、お互いに理解できている	・引き続き、保護者様方が安心していただけるよう、丁寧な説明を心掛けていく
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	38	1	0	・定期的な面談、利用日のLINE共有にて、お互いに理解できている ・毎回、状況を知らせてくれる	・引き続き、保護者様方が安心していただけるよう、丁寧な説明を心掛けていく
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	33	5	0	・定期的な面談、利用日のLINE共有にて、お互いに理解できている ・個別支援計画のための面談は行われているが、日常生活までの相談には至らず、家庭内での困難は続いているため、アドバイスをもらいたい	・個別支援計画やそれ以外での面談を今後も実施していくことで、少しでも保護者様の支援が出来るよう、対応していく
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	18	15	・中学進学に向けての進路など、先輩ママの話が聞きたい ・保護者会の中で、情報交換は絶対必要。できれば、勉強会もかねてほしい ・あれば心強い	・父母会や保護者会に関しては、「必要」「不必要」の意見を聞いた中で「どちらともいえない」が多数をしめた。開催の有無については慎重に決めていきたいが、児童の進路や勉強会などの場を求めていることに関しては、事業所としてどのようにアプローチが出来るかを検討していく
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	27	12	0	・今まで「苦情があった場合」ということがないため、わからない ・未経験のためわからない	・子ども、保護者様方から苦情等があれば、真摯に対応していく
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	38	1	0	・定期的な面談、利用日のLINE共有にて、お互いに理解できている	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	19	2	・時間がある時にHPで確認している	・HPにて活動内容や学習教材などの報告は前回より増えているも、保護者様方にはまだ伝わっていない部分もあるため、2.3か月に1度会報を作成することで、スクールの情報共有をしていく
	⑭	個人情報に十分注意しているか	35	4	0		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	32	7	0	・定期的に行われているので安心 ・防犯マニュアルは知らないと思う	・防災や感染マニュアルは、書面や訓練にて掲示・実施をしているが、防犯マニュアルに関しては、児童の目に留まる場所にはないため、防犯マニュアルやポスターを作ることで周知をしていく
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	36	3	0	・定期的に行われているので安心	・引き続き、すべての利用児童が避難訓練などに参加できるように、日時を決め実施していく

満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	33	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダーやお友達と遊ぶこと、勉強することがとても楽しいと本人が言っている ・楽しみにしている ・苦手な勉強を頑張り、遊びの時間もより良いと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強が苦手な子もいる中で、苦手だけでも少しは楽しく勉強に取り組めるように、工夫をしていく
	⑱	事業所の支援に満足しているか	37	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の内容を本人から聞いたり、LINEで詳細を知れるため、安心している ・心理士の方やカウンセリング的なものがあると助かる ・親では出来ない読書の時間があるのが良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールでの活動を共有しつつ、児童一人ひとりに沿った支援を心掛けていく ・心理士の方などによるカウンセリングの機会については、どのようにして取り入れられるかを検討していく

○この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成31年3月31日 事業所名：オレンジスクール 青葉台教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・法令を遵守している ・場合により机や椅子の配置を行うなどの工夫をしている	・限られたスペースを活用していく
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・法令を遵守している	・今後も継続していく
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・お手洗いの場所に段差はあるも、ある程度バリアフリー化されている	・段差については、児童に周知することを徹底していく
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・職員ミーティングや一人ひとりと面談を行うことで、目標の確認と振り返りが出来ている	・今後も継続していく
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者様から頂いたアンケートをもとに、今後も業務改善につなげていく	・今後も継続していく
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		・オレンジスクール青葉台教室のHPにて公開している ・会報は現在取り組んでいない	・今後も継続していくとともに、会報も取り組んでいく
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・現在、実施していない	・現在は事業所・保護者様の二者評価となっているため、必要に応じて検討していく
	⑧	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・市などが実施している研修に参加し、スキルアップを行っている	・今後も継続していく
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・日々の児童の様子や保護者様からの共有をもとに、児童のニーズや課題を把握、振り返ることで個別支援計画の作成につなげている	・今後も継続していく
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・アセスメントシートは事業所内で統一したものを使用	・今後も継続していく
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・職員同士、意見を出して実施している	・今後も継続していく
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか		○		・行事ごとの創作を取り入れているが、基本的なプログラムは、固定化されている部分もある	・今後も継続していくとともに、季節にあった創作活動に取り組む
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・個別支援計画やオレンジカードをもとに、目標を決め支援をしている	・今後も継続していく
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個別支援計画やオレンジカードをもとに、目標を決め支援をしている	・今後も継続していく
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・児童の様子を日誌に記録し、職員ミーティングを行うことで、支援の内容や役割を確認している	・今後も継続していく
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・支援終了後に振り返りを実施している ・当日の振り返りが出来ない時は、日誌や翌日に振り返りを行うことも出来ている	・今後も継続していく
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・毎回、児童の活動内容を記録し、支援の振り返りや次回の支援につなげている	・今後も継続していく
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・継続的なアセスメントをもとに、半年以内にモニタリングを行い、個別支援計画の作成につなげている	・今後も継続していく
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			・個別支援計画をもとに、活動内容や目標設定を検討し、支援を実施している	・今後も継続していく

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	・サービス担当者会議に参画したことがない	・基本的には児童発達支援管理責任者が参画するが、必要に応じて児童指導員も参画していく
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○	・保護者様または児童を通して情報共有を行っている ・事業所での送迎は行っていない	・必要に応じて、学校と直接の連絡・連携を検討していく
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	・利用時に保護者様を通して医療機関や主治医について、緊急時の対応方法の確認をしている	・今後も継続していく
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	・保護者様を通して支援計画等の情報を共有をしている	・ご家庭や児童の状況など、必要に応じて直接連絡・連携を検討していく
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	・現時点で、障害福祉サービス事業所等へ移行する児童がいない	・ご家庭や児童の状況など、必要に応じて直接連絡・連携を検討していく
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・研修会などを通じて、支援のスキルを高め、児童一人ひとりにあった支援に繋げている	・今後も継続していく
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	・公共の施設に行く際に関わることがたまにある ・自主的な実施はしていない	・必要に応じて活動の実施を検討していく
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		・区が開催している支援部会への参加を行っている	・今後も継続していく
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・ご利用時に児童の活動内容を共有している ・LINEやメールなどの情報伝達ツールを使い、児童の状況や課題を共有している	・今後も継続していく
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		・現在、実施していない	・面談時に、保護者様からご相談あればお伝えしている ・今後、実施をしていくかは検討していく
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に説明を行うとともに、教室内にも掲示し、いつでも見れる環境にしている	・今後も継続していく
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	・モニタリングや面談、送迎時に話をするなどして対応している	・今後も継続していく
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	・現在、実施していない	・現在、実施していないが、保護者様の意見を踏まえ実施に向け検討・調整していく
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・マニュアルを作成し、教室内で掲示している	・苦情をいただいた際には、社内で迅速に対応し、改善に向け取り組む
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・定期的にブログを更新することで、活動内容等の共有を行っている	・今後も継続していくとともに、新たに会報を取り入れていく
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○		・書類等は鍵付きの棚で保管し、パソコンのデータはpassをつけることで、管理をしている	・今後も管理を徹底していく
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・児童や保護者様の状況に応じて、実施している	・今後も継続していく
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・現在、実施していない	・実施するかについては、必要に応じて検討していく

非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で作成し、掲示していることから職員だけでなく、児童も見ることが出来ている ・保護者様への周知はしきれていない面がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルについては、保護者様にも知っていただけるように、説明の機会や周知を行う
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・春と夏の年2回実施することで、全児童が参加できるように、日時を決め開催している 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していく
	㉒	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で研修を実施している 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していく
	㉓	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に身体拘束について説明し、書類にてご署名をいただいている 	<ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ず身体拘束を行った場合には、保護者様に説明を行います ・身体拘束が発生しないように、支援を行うことを心掛ける
	㉔	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・食事、おやつ提供は行っていない ・食物アレルギーがある児童に関しては、契約時に保護者様に聞き取り対応等の共有を受けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していく
	㉕	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット発生時には、職員間で共有するとともに、報告書を作成している 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していく

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。